

「物事を成就させ成功させる力とは何か、その中にはむろん能力もあろう。だが、能力は必要な条件ではあっても、じゅうぶんな条件ではない。じゅうぶんな条件とはその能力に、機動力・粘着力・浸透力・持続力などを与える力である。そのような諸力を私は執念と呼びたい。仕事に困難や失敗はつきものだ。そのようなときに、困難に敢然と挑戦し失敗に屈せず、再起させるものが、執念である」



かんぜん
どこうとしお
土光敏夫※

勉強もまったく同じだ。能力があってもやる気がなければ、能力などないのと同じだ。“やればできる”ではなく“やる”ことがすべてなのだ。受験でも最後は必ず受かりたいという執念が明暗を分ける。範囲が広い受験勉強はがんばったからといってすぐに結果が出るものではない。だが、必死さは必ず実を結ぶ。入試当日にグンと伸びることだってある。怖いのは模試の結果が良いからと浮かれている輩だ。模試と本番は似て非なるものだ。気を引き締め、毎日の勉強に取り組んでほしい。

下山

※土光敏夫…石川島播磨重工や東芝の経営再建を成し遂げ、後に当時の中曽根首相に請われ、行政改革の先頭に立ち、「行革の鬼」と呼ばれた。質素な生活ぶりでも有名で5000万円近い年収の内、月10万円の生活費を抜き、あとはすべて母の設立した女学園に寄付していたという。

◆ 萌学舎卒業生の「わが校」紹介 松山高校(理数科)2年 T.Nくん

松高生は、勉強に部活動に行事を真剣に取り組む生徒です。テスト一週間前には部活動禁止になり、皆、血眼になって勉強し、球技大会や文化祭の前にはクラスで一致団結して男子校らしいあつくるしきを出して、真剣に取り組んでいます▼部活動では多くの運動部が関東大会に出場し、文化部では内閣総理大臣賞を受賞するなどの大活躍をしています▼私が松高生になってよかったことは、進路関係のサポートが多いことと、すばらしい先生がそろっていることです。進路については月に一度ほど集会があったり、資料が配られたりします。配られる資料には重要な内容を含むものが多く、とても役に立ちます。先生方については、平日松高塾というものがあって、勉強面でニガテなところを完璧にサポートしてくれたり、土曜日にわざわざ授業をしてくれたりします▼理数科では数学の授業が高1からクラスが2つに分かれ少人数(20名)で行われています。高2で単元をすべて終わらせるため、授業の進度ははやく1日に数学が2時間ある曜日もあり

ます。また、毎年夏休みには、理数科を対象にした3泊4日の勉強合宿があります。合宿中は夜遅くまで卒業生の話を聞いたり模擬テストが行われたりするので、勉強の動機づけになります▼松高は2012年よりSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定されています。SSHに関する行事には理数科の生徒は全員参加します。大学の先生の講義が聴けたり群馬大や宇都宮大に出向いて本格的な実験の見学が出来たりします。理科好きの生徒には大変魅力的な内容になっています▼私が松高生になって悪かったことは、電車の通学時間が長く朝早起きしないといけないことだけでそれ以外は特にありません。それに、その長い通学時間で英単語や古文単語をやれば一石二鳥だと思います▼最後に、松高生になるために必要なものは、熱い魂と、何事にも誠実に真剣に取り組む心と、仲間を友達を大切にしたい気持ちです。これらが松高を受験する際のパスポートになると思います。



てんちめいさつ
『天地明察』 沖方丁著

國吉真人

日本人でありながら、シンガポールに生まれ、ネパールで育つという経歴を持つ沖方丁は、18歳で小説家デビューした後、現在も数多くのヒット作を飛ばす売れっ子の作家です。その沖方丁が初めて書いたノンフィクション時代小説は、本屋大賞をはじめとする四つの賞を受賞しました。それが本作、「天地明察」です▼江戸時代、碁打ちの名家である渋川春海は、型通りの碁を打つだけの“御城碁”に飽き飽きしていました。このまま終わってしまいたくはない。どこか、本当に



自分を活かせる場所はないか▼そう思いながら、春海は碁打ちとしての職を全うしながら、算術と曆術(天体の動きを予測する法)の独自の研究に打ち込んでいました▼そんな春海に、ある日、日本全国を回って北極星の位置を観測する仕事が命じられます。そしてそれは、800年の歴史の中で、少しずつズレが生じてきた宣明曆に代わる曆を創造するための、“改曆事業”への序章でした▼権威への挑戦。解き方も計算方法もわからない中で手探りで闇を進む心細さ。そういった状況において、春海は腹を切りかけるほどの挫折を重ねながらも、生涯をかけて改曆事業を成し遂げます▼算術の天才関孝和。会津の名君保科正之。若かりし頃の水戸光圀。春海を支える2人の妻。多くの人に支えられながら、文字通り生命を費やして改曆に挑む春海の姿は、自分の生き方を考える上でも、ひとつのヒントになり得るのではないのでしょうか。一読の価値ありです。

※ここで紹介された本は萌学舎文庫(自習室の本棚。2週間貸出)にあります。

◆ 行事予定

□ 11/3 小6 首都圏模試, 中3 北辰テスト

□ 11/15~21 (日曜は除く) 小・中1・2 父母面談 (ご父母と担任教師、マンツーマンの面談)

□ 11/22~29 期末テスト対策週間 (詳しい日程表は後日配布します)

□ 12/1 第7回中3北辰テスト(11/9までに受験料4300円を持ってきてください) 【編集/加藤】